

# 本郷法人会60周年記念講演会

## 川口教授が「はやぶさ」を語る

### LEOPARDS・吹奏楽部が協力



「はやぶさ」の父・川口教授

「はやぶさ」式思考法をテーマに講演しました。

2003年5月に打ち上げられた「はやぶさ」は、分析装置を運ぶ代わりに、試料を地球に持ち帰るサンプリターン探査機です。革新的なイオンエンジンを搭載し、宇宙空間で燃料漏れのトラブルがあり、地球への帰還は2010年に変更。通信不能、軌道修正、最後は神頼みであった幾多の苦難を乗り越えて、「はやぶさ」は再起。2010年6月に採取カプセルを分離し、地

を再認識させました。



「はやぶさ」の模型



いつも元気な LEOPARDS



高らかな演奏をした吹奏楽部

川口教授の感動的な講演の後、大学・短大のソングリーディング・ダンスチーム「LEOPARDS」と吹奏楽部のメンバーが明るく高度な技と演奏を披露。会場からは「再び感動！」との声がかえりました。

9月2日、国際連携教育 郷キャンパスB'sダイニン

プログラムの開校式が、本球を撮影した後に大気圏再突入して消滅しました。カ

その間に遠隔観測を行い、プセルはパラシュートによる高度の自律機能で着陸。イ

メラ砂漠に落下。「はやぶさ」がもたらした科学的観測結果には、世界初の発見

がいくつもあり、「はやぶ

は、世界中の人々に「あきらめないことの大切さ」と